

猷詠集

4
493





利生
493

門利
號499
卷

藏書

東方朔
子書

藏書

藥頤

明
治
世
年
八
月
六
日
分
子
士
藏

藏書

東方朔子書

明治十七年十二月

二不朝亲王



秋詠集序

春夜春日出山之念の二三並若
山乃之東之涉落を此叙りていとも
累三胡肌之任事に与つる
此亦月社乃法出るるなり
やまゝ大文迄

序

一

此の書は孝行の
指針神
等此は心誠慰めを
神友の志謀りて
社以紅葉ふと云
人々如歌色がむ
法何あり不死乞
神友の志謀りて
社以紅葉ふと云
人々如歌色がむ
法何あり不死乞

守りて思ひの
小島海をた
すふ也
鄙人
りり
神祀

序

二

みむるも我何ふ能くあめり
しるも畏まのまお月え侍り如
きり祀かゝ迄五百津を兼り
つむしきるもあやしむる尾
るふ因り何の何ふ法必
これ長くしむ侍り能く

言重き此事ふらふなり
くしあかしくなんん
かゝらう倭大宮遷り
幸り里に乃流る神樂
侍舞下ふり何れも
る風流なりて亦此は

在波の廣前より言ふかめ積
あきく傳りふ事れいりーいあや
我大神左牡鹿耳振立よあ
や学會 錫心よけんいあ言記
積り社積ももにさる記や
近海風音さくくく鳥く学え

しそいみーさるーの記や
あきくも於月え傳りふー
き積り社積もも然と般斜の積ふ
写り一毎三あきく永世あきこ
社庫く細めさあ徳人達ふを
送り泰も也傳りあなん甚きり

何事なく一山志を志むこしは
吾書にこそ養ひぬ好なるぬ
吾書みたるをいふは

明治十七年十二月

春日神社宮司從五位水谷川忠記



社頭紅葉

二品朝 伏見文秀女王
 從一位中山忠能
 從一位九條道孝
 從一位近衛忠熙
 正二位嵯峨實愛
 正二位親町實徳
 正二位醍醐忠順
 從二位伊達宗城
 正三位藤原博房



字人のお母よそふると色をえてみるたのお祭るう地へぬる
 まり山忌を来たまふき思ふへい新りの深るお祭也りり
 かすくやま宮ぬの朱ととらふもよま子色馬守山をれお祭
 廣あれもみちとんあふやんりふれとお記の色まうつ
 まり山てふはお祭もあふまきて深ねと色成かまらふ
 まり山沖のめくみの高はしとぬれお祭の色ありん
 まり山志くれぬきたよみちふへい少々の誠の子せらん

在大阪 久間琢磨
 文部省訓導豊浦兼松
 大坂府守備岡田武規
 大坂府訓導富永八郎
 大坂御用掛川江直種
 仕 人 茂木重麗
 陵 堂 宇丸弘喬
 權衛神社宮司近藤芳介
 至神宮宮司松原貴速
 廣瀬神社宮司根懸輔
 丹波神社宮司渡邊重春

沖のまはまのれ山に祭るやまと祭れとさうなるなり
 八とととらたきと祭神の祭るは沖の祭場よりお祭
 まり山もあまふ神とれとさう祭と目をかきもみちのけ
 かすく山お祭の祭あふとさうやとやのんちあふとら
 子あふお祭の祭あふとさう祭とあけとさうゆとつ
 千本とさう祭とさうかけとさうとさうのさうもさう
 まり山とさう祭とさうへとさうとさう祭とあけのま垣
 むとさうとさうとさうの祭とさう目とさうとぬれとさうお祭
 おの祭とさうとさうの祭とさう山沖の祭とさうとさうとさう
 あふとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 みとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 そとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう

佳言神社宮司津守國敏
 生國權社宮司松下隆和
 三皇神社宮司秋山光條
 阿蘇神社宮司阿蘇惟孝
 廣野神社宮司馬來 伸
 齋神社宮司岩満重武
 都賀神社宮司有本久豊
 土佐神社宮司渡邊成雄
 崇神社宮司長利仲聰
 西條神社宮司大貫真浦
 阿蘇神社宮司安濃恒生
 石上神社宮司上司延賀

あはれおのちと白ふりてまかり紅糸てりそふ朱の玉垣
みよりれおのこころとあかたてらぬお糸をうらにひけり
夕つらさくや三笠の沖垣より思ひこゝろをこころつ
三笠山ともみかたれ色のてらたら沖の直れまよるむら
まら山忌垣のお糸あてらあろい麻も糸成かしてゆふれ
かす山忌きの光よけ林のこゝれ紅糸もてりつらふん
名はしあふまきの字に林山の縁をかきつ時をまよる
沖垣のうらとゆきそは村竹もあつははしお糸てりたり
大糸よつらあつらろかかれと忌垣のお糸色よつらふん
かすのやまあきの糸糸の思妙いひ字はたれお糸あてり
まらふてらるお糸をあふたつ大和はたの懼もこころ
山姫と新宮うつらとゆきそお糸のはし死今もあつら

龍田神社登芳井并人
枚岡神社登岩政隣徳
大鳥神社登辰市祐斐
鹿島神社登大谷秀實
貴船神社登西池李繁
奈野神社登岩谷定玄
浅間神社登注連澤輿磨
護王神社登猪熊夏樹
笠置神社登野村敦明
平野神社登水並磐樟
同 同野口忠龜
同 同山本孝氏

あつた思妙としもま白まじりまの山はまきのとまら
糸のほれ三笠の山は糸糸のたつた梢をたれのあつらぬ
初あつれつらまらまの沖垣の三笠山は糸糸あてん
さしてまら三笠の山はまみまら沖のゆけしれ糸糸も
子子振糸のまへのゆふ女のかじもむもみちの也
ゆふ妙て思妙と一もみあつらおいかたよかろまの糸糸
ゆふやまの玉垣ささまきあけをそへぬる本は糸糸
糸糸もらまをいひれたらひとたよあぬ色をこころん
あふまきこころまの山は沖垣よりたよお糸もる糸糸も
あつたしきまらりの字お糸のしあゝの糸糸深きまら
右左糸もらあつらふんお糸てりそふ朱の玉垣
まらまら糸の糸糸も色をそお糸の糸糸もまら

楠梓神登桑田孝恒
同 同川上龍三
同 同水野愛敬
同 同小野好廉
石上神宮登津江正文
龍田神社登古野包正
丹波神社登春海義基
同 同吉田義廣
大鳥神社登澤田岩藏
同 同神松美泰
同 同神山厚重
同 同神山鈴吉

紅糸毛朱の鳥井の色をていしそ記すのたすく
 たり妙のやり一れを我みそ山あて移して句ふ杖さ南
 とみち糸のよ一初の色をとりかきそなり沖の空舟をたふりつ
 彩るる春の山に紅糸は沖のともりれしたそをみる
 なりぬさいたたねと水かさ山とみちの縁きそいつのま
 まり沖の一れを各の色をひて大和縁よそむるそみち
 杉乃とるまの杜れとみちを我そめ一三笠の山乃志くれ
 紅糸とてこれの時のもろよあひてくれぬ深く海あはん
 西東の海一とみちをけ秋に結文を社をゆりそま
 層より一れたすりとこれに玉垣の色をふ木のこみち也
 せを一かむとるそはさる赤垣とみつる本と帯とそつ
 重なるふ沖のいつれに紅糸は海をゆきそとてり海り

大坂 権義 滋岡 功長
 大坂 大講義 武津 八穂
 大坂 大講義 野口 義貴
 大坂 大講義 園 八尋
 大坂 大講義 眞鍋 豊平
 大坂 大講義 富田 光美
 京都 大講義 芳井 巨静
 奈良 大講義 佐保 山晋四
 山崎 大講義 加藤 誠定
 羽後 大講義 伊藤 鑑幸
 讃岐 大講義 上里 濟
 美濃 大講義 棚橋 碌翁

まろ山沖のこつれいやててよあそりさ一ここのをみる
 陰のむと望の山れをされて馬場の紅糸思つてゆり
 玉垣のこみち一をくまろ山沖も何よあ杖を志し
 まろ山林はた馬場の沖松子都とみのき城てはとそ
 大君の杖乃とそ一とそ余のこ望の山と紅糸一たり
 字つこの縁の戸よりかけ一とそあら沖をのこみち也
 赤さる空おも志しむ糸れおのれつる朱の玉垣
 まよれこのつあられて沖垣とる紅糸のかけとがし
 空のほくりまろの空の影を杖威とそ一ゆふとみち
 志免ゆい一いつの本のふら楓あさひさういそみち一たり
 若うとみ地松の子とそ杖をあそり沖の雨杖裁かろる
 漆つるはとみ地を杖の雨笠山阿けのる各の色とひつ

大坂 権義 滋岡 從長
 東京 権義 山田 通良
 東京 権義 関 葦雄
 大坂 権義 寺井 種清
 飛騨 権義 田嶋 壯二郎
 高山 権義 佐伯 真彦
 大坂 権義 潮見 琢磨
 伊豆 少講義 鈴木 八束
 大阪 少講義 田嶋 五郎
 飛騨 権義 川富 寛右
 伊豆 権義 山田 範吾
 奈良 権義 上 司 延絃

讃岐訓導黒木常吉
 讃岐訓導上里寛造
 近江訓導田谷水脩
 奈良訓導橋本藤一
 大阪権訓導加藤景延
 筑前権訓導黒山利廉
 大坂権訓導佐木義祐
 大和權訓導并筒茂云
 京都試補遠藤千胤
 奈良試補大宮守慶
 大和試補福并藤孝
 三笠山麻の子はたけし 津垣の木もまの紅葉をあらまきり

庶極山ささくも芳のちいさつをむく紅葉もつる
 津垣をめぐりつる時ふふ男麻のまきより紅葉もつる
 香もあけぬくもふふよりうらむし紅葉のまのちいさつ
 まる山木々の葉み地の赤さひて祝祭の神も深らう
 あつらつる時の雨も深らう紅葉をそふあけの玉の丸
 みやうらもあけぬくもふふよりうらむし紅葉もつる
 夏夜のむけわりの赤かへくもみちより紅葉の瑞垣
 日はやむくは紅葉あけぬくもふふよりうらむし紅葉
 まる山赤のやうらわぬくもふふよりうらむし紅葉
 みくく紅葉をけくもふふよりうらむし紅葉の山は紅葉
 君りたのちいさつかすも紅葉を山木の子もちいさつ

在右符 祠 官諏訪與一郎
 紀伊 祠 官小竹田道真
 陸前 祠 官遠藤清良
 近江 祠 官古我貫一
 近江 祠 官三田村時邦
 陸奥 祠 官長利龍雄
 大坂 祠 官大町安敬
 近江 祠 官堂南部 晋
 奈良 真鹿藤村敬運
 山城 渡念寺 霞樓
 同 鞍馬 信樂庵 蘭香

高んよりつやひつたのひたさかけしきまゝに紅葉
 とみちもふふまふのふたけりつ津の志とねや織いし
 まるも木林のこまゝのこれなるの津の志とねや津らん
 経緯のありとも見えぬとみまの縁も津のみりし
 まかろし一橋前の山と日とけしとねやかての林の紅葉
 おかつた本この紅葉はさき山あつた津の志とねや津らん
 むちとふ津のゆりし一の縁もつとねや山の洞乃とみちハ
 津とて代てしねをさふまのりしとねやの山は紅葉
 本この縁ハ時のつとねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 明の山あつたしと津の志とねや乃とみちをさつとねや
 みる山とねやさつとねやの志とねやしとねやの志とねや
 河内長樂寺 覚阿
 同 長樂寺中 瑞光
 京都西登寺 東海
 同 拜郷蓮菴 蓮庵
 大和津守 教純
 大山清賢庵 悟心
 頼津 神奴明矩
 常陸 佐川 貞
 肥後 佐々豊水
 在東京 本多忠胤

千本をくまは津のゆりしとねやの紅葉
 高ん山あつたしとねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 みる山とねやさつとねやの志とねやしとねやの志とねや
 おおあけハ河津の志とねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 いはとのりけしとねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 まる山とねやさつとねやの志とねやしとねやの志とねや
 動なれとねやの山とねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 みつとねやの志とねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 津の丹ぬるの志とねやしとねやの志とねやと津はこれ
 みる山とねやさつとねやの志とねやしとねやの志とねや
 け林の志とねや津はしとねやの志とねやと津はこれ
 のとねや津の志とねやの志とねやと津はこれ

奈良 板倉好信
 同 松本正則
 同 谷口正武
 同 竹内永祐
 同 八木重治
 同 東 友秋
 同 芝 葛張
 同 鳥山昆慶
 同 中御門胤慶
 同 中御門荒彦
 同 千鳥保磨
 同 上司延秀

全 赤澤大冲
 全 上田總陰
 山城 柏村賤夫
 京都 長所義道
 全 鹿野亨利
 全 平勢秀賢
 全 井沢治祐
 全 玉城真守
 全 前田有之
 全 藤原玄二
 全 小野基一
 全 定智

全 山内芳秋
 全 隆吉
 全 赤松祐以
 全 座載
 全 政成
 全 良金
 全 藏持正秋
 東京 成徳
 東京 芝 真掣
 座田五子
 山城 三谷梅子
 京都 田中多學

こゝを山守のいふ通りさすのり此の地をさすことのみちちりり
 其の地のあはれあやうきことんあはれの由よりまわぬ事なり
 まる山林のゆふひれても妙にさすまゆふことみちちりりり
 守人のさくくろたふさのさる海をもみち也なり
 此の地のあはれれれを引て一みちあはれはちのあはれをさす
 まる山守といふ所の泪より此の地のあはれをつきてしん
 こゝを山守のいふ通りさすのり此の地をさすことのみち也なり
 あはれをさすのりさすのり此の地のあはれをつきてしん
 此の地のあはれれれを引て一みちあはれはちのあはれをさす
 まる山守といふ所の泪より此の地のあはれをつきてしん
 こゝを山守のいふ通りさすのり此の地をさすことのみち也なり
 あはれをさすのりさすのり此の地のあはれをつきてしん

武藏	根岸武香
全	岳九儀
全	須藤開邦
全	須長宣冬
全	須長富夫
全	奇原孟賀
全	田口拓
全	柳沢白主
全	宮木忠善
越前	菊沢正秋
日向	肥田景正
郡	密尾成業
周防	

立田地は其の地を此の地をさすことのみちちりりり
 此の地のあはれあやうきことんあはれの由よりまわぬ事なり
 まる山林のゆふひれても妙にさすまゆふことみちちりりり
 守人のさくくろたふさのさる海をもみち也なり
 此の地のあはれれれを引て一みちあはれはちのあはれをさす
 まる山守といふ所の泪より此の地のあはれをつきてしん
 こゝを山守のいふ通りさすのり此の地をさすことのみち也なり
 あはれをさすのりさすのり此の地のあはれをつきてしん
 此の地のあはれれれを引て一みちあはれはちのあはれをさす
 まる山守といふ所の泪より此の地のあはれをつきてしん
 こゝを山守のいふ通りさすのり此の地をさすことのみち也なり
 あはれをさすのりさすのり此の地のあはれをつきてしん

全	関谷正輔
全	鈴木貞雄
全	御洗等
全	宮成景續
越後	大天真弓
全	河村虎平
全	宮沢廣光
石狩	早川正輝
全	桂長樹
伊賀	堀江寛
名張	水平和政
全	梅崎義静
全	

神のせれひはけやはし秋にきくあひ成てくは本々のお祭
 受てくふあひあまふ南一くりぬまおておあお枝と母
 まりあまふあひあまふお祭あまふお祭のときり
 二宮山縁あまふお祭あまふの宮れとみせ也りり
 みく山おまふのお祭はけの時の北よりりりりりり
 お祭の色れよし向乃すは鏡かけは縁とつははあ
 神せりり光あまふぬお祭あまふのあまふのあまふ
 たりり子あまふたふお祭あまふのあまふのあまふのあまふ
 まり山神の玉垣あまふお祭あまふのあまふのあまふ
 祭あまふのあまふの神と向あまふお祭あまふのあまふの玉垣
 まり山神の枝よけあまふのあまふのあまふのあまふ
 美神のみりり祭あまふのあまふのあまふのあまふのあまふ

大阪 安田千鶴子
 東京 松岡機子
 全 有賀勝子
 武蔵 根岸猶子
 全 根岸多子
 京都 今西壽女
 全 岸本教壽
 全 小川昌子
 全 静子
 全 和野子
 全 效子
 伊賀 堀江麗子
 名張

まりやまお祭あまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 いかせのあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 まり山神のあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 月と山神のあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 まり山神のあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 神垣あまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 たりりあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 まり山神のあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 祢きあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ
 まり山神のあまふのあまふのあまふのあまふのあまふ

河内 中西氏子
 奈良 藤枝可知
 全 森川杜園
 京都 川島董守
 京都 座田太氏
 上加茂
 春日神菅岡水谷川忠起
 同 榎田中秀善
 同 黄白井雅義
 同 大東延慶
 同 千鳥祐順
 同 梅田春保



